



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

平成 24 年 7 月 21 日(土)
まち灯り・夏用 廃食油のろうそくづくり 編

今年も、8 月 5 日(土)に行われるのしろまち灯り・夏に使用する廃食油のろうそく作りを能代市子ども館で開催。市内幼稚園児や小学生が集まってくれました。平成 19 年からはじめて 6 年間、作り続けたろうそくの数は何千、何万になったのだろうか。

のしろ白神ネットワークに属する上町すみれ会は材料購入、ろうそくの芯、当日のスタッフと沢山の役をこなさなければなりません。仕事量は増えてもマンパワーが増える訳ではなく、そんな中、近年活動をともにして下さっているのが、能代市連合婦人会の皆さん。本当に頼りになる女性達です。また、ネットワークの仲間である能代バイパス黒松友の会の方も、いつも一緒に作業をして下さいます。

事務局の秋田県立木材高度加工研究所からは BDF 燃料の実験講師に今回は斎藤健志さんが参加。子供達の環境教育に重要な役割を果たしていただいています。もちろん、この会場となる子ども館は職員総出でお手伝い。ろうそく作りの可愛いチラシも職員の方が作って下さり、能代市内全小学校(2,600 枚)を教育事務所を通し配布します。

幼稚園、保育園は全部は難しく(低年齢)1,000 枚ほどを、配布。一斉配布機関が無いため、一つずつ施設を回るのもなかなか厳しいものですが、近年、商工会議所青年部の協力で印刷や配布が大分楽になりました。継続することで多くの団体が助けてくださるようになり、最初の辛さが身に染みているだけに有難さでいっぱいです。

さて、この日の参加者は午前中 40 人、午後 20 人程度とやや少なめ。何と、昨年引き続き能代の大会と同日となりました！

でも、参加した子供たちや保護者の方々に、200 個のろうそくを作り目標達成(●^o^●)恒例の点火式を無事終了。参加者は上町すみれ会特製の可愛いリサイクルろうそくをもらい、嬉しそうに帰りました。「8月5日(土)はみんなが作ったろうそくが火を灯しますよ～ 遊びに来てね ♪♪」と見送り。はあ～終わったねと、一同、達成感を満喫。

このろうそく作りが終わると、まち灯りの半分が終わったような安堵感につつまれます。

皆さん、お疲れ様でした……………(*^_^*)

文： 能登 祐子



今回もたくさんの親子が参加。夏休み中の一行事として定着してきました。



本格的実験スタイルに変身する BDF 燃料の実験は毎回、大人気です。



今回もたくさんのろうそくができました。



不要になった白いうろうそくとクレヨンで作ったきれいな色のろうそくは、子どもたちのおみやげに。